



なぎさ

小松市立安宅小学校 学校だより

NO. 23

令和3年3月18日

校長 広見 理恵



心を密に ～コロナと共に生きる一年をふり返って～

3月に入り、いよいよ令和二年度の修了が近づいてきました。今年はコロナ感染防止対策により、異例の年となりました。例年行ってきた行事の中止を余儀なくされたり、形を変えて実施したりと、保護者の皆様に様々なご理解、ご協力をお願いした一年でした。

しかし、失ったものもあれば、見えてきたものもあります。

このコロナ禍における学校現場で感じたプラスの側面について考えてみました。



- ①行事や活動の見直しです。本当にこの行事や活動が必要なのかという取捨選択を迫られたことで、やるべき活動とそうでない活動の選別と、本当に必要な活動の意義を見直すことができました。来年度以降も保護者の皆様にいくつかご提案させていただきたいと思っています。
- ②子どもたちの毎日を充実したものにしたいと、先生方が授業により力を注いでくれたことも、今年大きな成果です。子どもたちにとって一日の学校生活で一番長い時間＝それが授業です。授業での満足は子どもたちの学校生活の満足につながります。今後もよりよい授業を目指していきます。
- ③子どもたちの主体性の育ちが見えたことです。「自分から自分たちから」の意識が、授業や日々の児童の姿から見られるようになってきたことは何よりの喜びです。また、安宅ザ☆スポーツ・あったか集会・児童会の様々な取組や、安宅ザ☆スポーツの「心を密に」のスローガンなど、コロナ禍だからこそ、子どもたちの発想や思いの豊かさに改めて感動させられた一年でした。

この一年は「特別な一年」でしたが、だからこそ安宅小全職員・全児童の工夫と協力を総動員した「かけがえのない一年」でした。このコロナ禍の中で、様々な制約を乗り越ってくれた305人の子どもたちを心から褒めたいと思っています。

この一年間、本校の取組にご理解・ご協力いただいた保護者の皆様に心より感謝申し上げます。

< 4月の予定 >

- | | | | |
|----|-------|----------------------|--|
| 4/ | 5(月) | クラス発表 11時 6年入学式準備 | |
| | 6(火) | 入学式・新任式 | |
| | 7(水) | 始業式 給食開始(2～6年) | |
| | 15(木) | 1年給食開始 | |
| | 23(金) | 授業参観(予定) | |
| | 30(金) | 春の遠足(予定) | |

6年鶴田さんより、本を22冊も寄贈いただきました。高学年が喜びそうな歴史のシリーズです。ご寄付、本当にありがとうございました。



6年生が書いた習字「この一年を表す漢字一文字」の中に「成」の字を書いている児童がいました。その字を選んだ理由に「コロナがあったから成長できた」との言葉があり、その重みに心うたれました。



明日は卒業式です。旅立ちを祝して。

例年とは違う形での卒業式ですが、心を込めて卒業生を送るために、様々な工夫をしています。全校児童が卒業式の時に体育館に入れなため、17(水)は1・2年生と6年生とのお別れ会、18日(木)は3～5年生と6年生の引き継ぎ式を行います。卒業式練習に向かう6年生の顔はもちろんのこと、最高学年を受け継ぐ5年生の顔もひきしまってきました。

たくさんの思いのあふれる卒業式になることを願って、安宅小全員で取り組んでいます。明日はきっといい卒業式になることでしょう。



前任の片桐校長先生から卒業生に大きな花束をいただきました。



5年生の担任だった越井先生・中田先生から6年教室の黒板にメッセージがありました。

保健の坂下先生から、卒業生一人一人に、6年間で伸びた身長の高さ分のリボンのついたカードが贈られました。



前に安宅小学校にいらした先生方、前の担任の先生方から、たくさんメッセージが届いています。

練習も佳境に入り、6年生の姿も緊張感が増してきました。最後まで「憧れの6年生」であることをめざし、頑張ろうとしている6年生です。

6年生と低学年のお別れ会では、低学年からたくさんの感謝が伝えられました。



今年是在校生による呼びかけは行わず、5年代表の岡田さん、中谷さんが送辞を伝えます。

<ベルマークの寄付、ありがとうございました!>

皆さんにご協力いただいているベルマークですが、今現在
H29 13494円 H30 21562円 R元 14829円 R2 34226円 (計算中)
計 およそ **82000円**、ベルマークによるお金が貯まりました。
これは学校にとっては大変貴重なお金です。来年度、子どもたちのために使わせていただきます。今後もベルマークの寄付をぜひお願いします。

